

**【表紙】**

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年10月21日

【会社名】 大日本住友製薬株式会社

【英訳名】 Sumitomo Dainippon Pharma Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野 村 博

【本店の所在の場所】 大阪市中央区道修町二丁目6番8号

【電話番号】 06-6203-5708

【事務連絡者氏名】 経理部長 加 島 久 宜

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区道修町二丁目6番8号

【電話番号】 06-6203-5708

【事務連絡者氏名】 経理部長 加 島 久 宜

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【提出理由】

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2 【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2019年10月21日

(2) 当該事象の内容

当社はがん領域において、開発計画を含む事業計画の見直しを実施し、当社の米国子会社であるTolero Pharmaceuticals, Inc. で血液がんを対象として開発中のサイクリン依存性キナーゼ（CDK）9阻害剤alvocidib（開発コード：DSP-2033、以下「本剤」）の仕掛研究開発について、国際会計基準（IFRS）に基づき減損テストを実施した結果、想定されていた本剤に係る収益性が低下したため、17,378百万円を減損損失として計上することとなりました。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象により、2020年3月期第2四半期の連結決算において、減損損失17,378百万円を研究開発費として計上する見通しです。